

授業科目名	こども音楽療育実習	教員名	後藤 祐子 (実務経験のある教員)	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	
					小学校教諭	
科目番号	KOD203	配当年次	2年通年		幼稚園教諭	
授業形態	実習				こども音楽療育士	必修
単位数	1単位				情報処理士	
科目						
施行規則に定める科目区分						
一般目標	事前事後指導を含めた学内及び学外におけるこども音楽療育の実習を通して、こども音楽療育の意義や目的を理解し、音楽療育の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的な知識を習得する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のあるこどもたちと積極的にかかわりをもつことができる。 ・支援者の療育の意図を理解することができる。 ・心身の発達過程と音楽的発達との関係、現場を見て理解することができる。 ・障がい種別の具体的援助方法の意義を見出すことができる。 					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」及び「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」に該当する。					
授業の概要	宮崎学園短期大学こども音楽教育センター及び外部施設において、障がいのあるこどもたちとの交流を通して障害児を理解し、更に、音や音楽を使った音楽療育の具体的実践方法を学ぶ。					
履修条件・注意事項	本授業は、全国大学実務教育協会認定「こども音楽療育士」資格に対応した科目である。本科目履修においては「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を同時に履修することが望ましい。					
授業計画	<p>授業は、通常の授業時間枠では行わず、年間を通して実施する。宮崎学園短期大学こども音楽教育センターにおいて学内実習を15回実施する。参加した各実習の事前事後指導・実習記録・全体のまとめをレポートし、実習担当者の指導を受ける。更に、外部施設において2日間の学外実習を行う。</p> <p>1. 実習の段階</p> <p>①療育実習の2側面 受動的側面 障害児の観察と理解 能動的側面 障害児と積極的に関わりをもつことができる。</p> <p>②実習の段階 見学・観察実習、参加実習</p> <p>2. 実習の内容</p> <p>①見学・観察実習 障がい児及び音楽療育の実際を理解する。</p> <p>②参加実習 音楽療育場面に参加し、積極的にこども達と関わる。</p>					
授業外学修時間の確保について	実習前に対象児を確認し、障害についての理解を深める。 外部施設の特徴を理解する。 実習後には、音楽療育実習記録簿及び音楽療育実習日誌を作成し提出する。					
学生に対する評価	単位の認定について 実習記録簿の提出状況 50%、 実習参加状況 50%					
テキスト	『音と人をつなぐ コ・ミュージックセラピー』中島恵子・山下恵子著 春秋社					
参考書・参考資料等	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(フレーベル館)					
担当者からのメッセージ	演習に際しては、対象者理解を深め、理論と実践のつながりを深めるためにグループワークや体験を通じた学びを重視して行う。体験をフィードバックを繰り返し互いに語り合うことを大切にしたい。					
オフィスアワー	火曜日 16:20~17:00 その他、必要に応じて個別に対応する。					
備考	・保育・教育・療育の現場で実践してきた音楽遊びを通した子ども理解や発達支援について、具体的な実践方法を教授する。					